# おなかの底から大笑い!!

ぼくのお話しも狂言に!

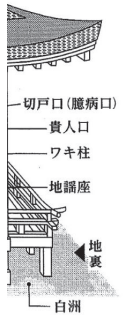
今、私たちが演じているこの舞台を600年前の日本人が観ていたと想像するだけでワクワクします。このワクワクドキドキ感を一人でも多くの方々に感じて頂ければと思います。



和泉流 二十世宗家
**和泉元彌**



舞台




組みを
す。実
設置し

## プロフィール




### 和泉淳子
日本初
女性狂言師

和泉流十九世宗家和泉元秀（重要無形文化財保持者）の長女として生れる。狂言六百年の歴史上初の女性狂言師。3歳で初舞台。プロの登竜門である「三番叟」を十五歳、「奈須與市語」を16歳で披く。平成元年、国立能楽堂において「史上初女性狂言師誕生記念公演」をなし、文部大臣より感謝状を受ける。以後毎年「和泉姉妹の会」を国立能楽堂にて開催している。外部出演としてNHK「ひるどき日本列島」レギュラーキャスター、大同生命テレビCM、消防庁ポスターのほか演劇、ラジオなどにも多数出演。人事院公務員研修所、外務省などで講演を行う。

現在は一男一女の母。狂言を通しての幼児初等教育に力を注ぐ。




### 十世三宅藤九郎

和泉流十九世宗家の次女。2歳半で初舞台。大曲「奈須與市語」を12歳、「三番叟」を十四歳で披く。15歳で祖父である人間国宝故・九世三宅藤九郎の指名を受け、三宅藤九郎の名跡を継承。17歳で姉・和泉淳子の史上初女性狂言師誕生記念公演と同時に十世三宅藤九郎襲名披露公演を国立能楽堂でなす。文部大臣より感謝状を受ける。また近年は、文化庁委嘱事業「伝統文化子ども教室」のほか「三宅藤九郎の狂言出張授業」を展開し、小中学生のこころの教育にも精力的な活動を行なっている。海外公演や国際シンポジウムでは自ら英語での狂言解説・ワークショップを行う。海外公演は12カ国30数都市に及ぶ。2012年にはノースダコタ州立大学芸術学部より招聘、客員アーティストとして英語による狂言の指導ならびに公演の実施・演出・監督を行う。

## おもしろ狂言らいぶ

### プログラム

**演目（60分～70分）**
※基本的に休憩なし
十世三宅藤九郎による、狂言のお話（10分）

●狂言（15分）



**盆山** ぼんさん

盆栽（ぼんさい）のかげにかくれた、どろぼう。家の主人に見つかっているとは、気づかずに、隠れているのは、犬や猿やとからかわれ、最後には鯛だといわれ、悪戦苦闘、さて結末はいかに!

※室町時代の言葉、狂言独特の表現で、子どもたちにも、わかりやすい動物たちの鳴き声など、楽しく鑑賞できます。

※ご要望により、柿山伏プログラムも可能です。



●創作狂言（15分）



**桃太郎** ももたろう

みんながよく知っている、あの「桃太郎」が狂言に!…小学生にもわかるようにアレンジした、和泉流宗家（和泉元彌書き下ろし）狂言です。

※二人で慎ましく暮らすお爺さんとお婆さんがいました。
ある日いつものように、お爺さんは柴刈りに、お婆さんは川へ洗濯に行きました。川で洗濯をしていたお婆さんの前に大きな桃が「ドンブラコ、ドンブラコ」と流れて来ました。その桃を家へ持ち帰り、お爺さんと共に切ってみると…中から元気な男の子が!
新たな命を授かった二人の家は明るくなり、将来この男の子が「鬼退治」をして家族共に幸せに暮らす様子を謡い納めて、一曲は終わります。

### 狂言を体験しよう!
（30分～40分）

①狂言についての質問コーナー&クイズ
②狂言の姿勢、所作
③狂言の発声
④狂言をやってみよう!